

受付番号	平成26年 2月 26日
	午前 11時 55分 受領

平成 26 年 2 月 26 日

胎内市議会議員 様

会派名 政 和 会
 会派代表質問者 氏 名 富 樫 誠

会派代表質問通告書



胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
子ども達が安全に安心して喜んで学校へ行ける環境づくりについて。	1. 学校教育現場において胎内市の児童生徒は「いじめ・体罰・不登校の不安」から十分守られていると認識されているのか。	市 長
	2. 子供の学校生活を、責任ある立場で守る為に今の「教育委員会制度は問題がある」との指摘があるが、市長の見解はどうか。	
	3. 25年度内に「学校いじめ防止基本方針」を策定との事だが、教育環境の理念や方向性、学校・家庭・地域との連携を述べるだけでは解決はむずかしいと思う。行政・議会も含め市民一人一人がその為に具体的に責任を持って何をなすべきかを条例化すべきではないか。	
農林振興に対する取り組み	1. 水田農業政策として5年後を目途とした新たな米政策のあり方が示された、これはTPP問題とともに胎内市の将来に大きな変化をもたらす改革である。しかも食料自給に鑑み農家だけの問題ではない、よって胎内市は新生JA胎内市とともに、どんな決意と体制で臨むのか。また現時点で把握している農業情報は農家だけでなく消費者である市民とも共有すべきではないか。	市 長
	2. 施政方針では林業・水産業に触れていなかったが胎内市の現状と今後の推進方針は。	
総合政策課のあるべき姿は	1. 合併特例債終了後の落ち込みを懸念する声は多い、胎内市が今後どう知恵を絞って地域間競争に挑み、どう勝ち残って市民を守るのか。	市 長

	<p>市民と共に進もうとする姿を提示し、それを形にする部署が総合政策課だと思う、その為には、課長会議・係長会議とは別に、胎内市を大所高所から判断し実践案を提案できるような民間のマンプワーも最大限活用すべきと思うが</p>	
<p>歴史文化の保存と継承について</p>	<p>1.昨年12月「第2回城の山古墳シンポジウム」に参加させて頂いた。城の山古墳の名称については板額御前ゆかりの「城氏の墳墓説」により、昭和32年に、大塚山（ひとかご山）から城の山へ変わっているが、胎内市の歴史認識もそれによいのか。</p>	<p>教育長</p>

受付番号	平成26年 2月25日
	午後 1時30分 受領

平成26年 2月25日

胎内市議会議長 渡辺 宏行 様

会派名 志政会

会派代表質問者

氏名 高橋 政実



会派代表質問通告書

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
財政健全化について	前年度比13%増の予算。大事業が背景	市長
	にあり起債に頼るところ大となっているが	
	合併特例債の返済を頭に置いて	
	・今後、起債残高の解消スケジュールを	
	どう立てているか？	
	・実質公債費比率の今後の推移をどう見	
	ているか？	
防災関連について	当市において、集中豪雨も心配の一つで	市長
	ある。特に毎冬において、堀川や胎内川河	
	口の砂の堆積で河口が塞ぎ止め状態となる	
	が、国等の管轄とはいえ河口の恒久的改良	
	計画についての市長の考えは？	

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>自然エネルギー施設等の活用について</p>	<p>海岸に風力発電、平場に太陽光発電、山に水力発電がある。このエコエネルギー環境を目玉として売り出したらどうか？</p>	<p>市長 教育長</p>
	<p>「親子ふれあいエコエネルギーウォークコース」、「エコエネルギー視察ルート」などを作り市内外に発信したらどうか？</p>	
	<p>・取り組みについて、市長の考えは？</p>	
	<p>・子供達のエコエネルギー教育の場としての活用方法はないか？</p>	

受付番号	平成26年 2月 26日
	午前11時50分 受付



平成26年 2月26日

胎内市議会議長 渡邊 宏行 様

会派名 緑 風 会

会派代表質問者

氏 名 薄田 智

会派代表質問通告書

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 『胎内市総合計画』について	<p>①現在の第1次総合計画は、平成18年12月に策定し、19年度より実施されており、実現に向けて、市民、地域、企業、行政が内容を共有し、総合計画に基づいて実行中であるが、現在の進行管理状況と行政評価は</p> <p>②平成23年5月2日に地方自治法の一部を改正する法律が公布され、基本構想の法的な策定義務がなくなり、法律上の策定および議会の議決は各自治体に委ねられたが、本市は、策定する必要があると考えるが、どうか</p> <p>③第1次総合計画は平成28年度までであるが、次期計画について、急激な社会の変化や多様化する市民のニーズをどう把握し、どう反映していくのか、また、議会との協議についてどう対応していくのか、次期計画策定のスケジュールを含めて、市長の基本的な考え方は</p>	市 長
2. 『市民憲章』と『胎内市宣言』について	<p>①現在、胎内市の市民憲章と7つの宣言があるが、内容の検証や市民への周知など現状をどう認識しているか、また、今後の取組みの市長の考えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心都市宣言 ・ 非核平和都市宣言 ・ スポーツ都市宣言 ・ 交通安全都市宣言 ・ バイオマスタウン宣言 ・ 国際姉妹都市宣言 ・ 国際友好都市宣言 	市 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 『財政の健全化』 について</p>	<p>②宣言の内容の見直しが必要と考える。昨年提案した『子育て応援都市』の宣言や胎内市が発祥の地である『米粉の発祥のまち=普及促進』宣言を新たに宣言し、他市町村にはない胎内市独自の魅力的なまちづくりを展開し、全国に発信してはどうか</p> <p>①26年度の一般会計予算は162億22百万円で過去最大の積極的な予算、市債も昨年度比プラス15.2億円。年度末残高は204.5億円にのぼり、前年度比12億円の増の見込み市債は増加の一途であるが、胎内市の財政規模での市債の状況と将来の返済計画は</p> <p>②地方交付税が平成28年度以降から5年間で7億円削減されるという報道があるが、今後の対応策は</p> <p>③昨年、胎内市の実質公債費比率は一昨年度より1.3%改善し、16.5%になったが、今後の予測と、行財政の効率化への取組みは</p>	<p>市長</p>
<p>4. 新総合体育館建設 事業について</p>	<p>①建設事業を担当する専任の係の設置ということだが、規模と職務内容は</p> <p>②今から活用内容の検討や準備、市民への利用者募集などのPR、あるいは、ネーミングの募集など、市民からの関心を高め、建設への期待を集め、竣工と同時に利用者が満杯になることを期待しているし、市民もまだかまだかとワクワクしながら待っている。胎内市民全員が、建設して良かったと実感出来る体育館が理想と考えるが進捗状況は</p>	<p>市長</p>
<p>5. 子どもたちに夢を 持たせ、実現させる 体制作りを</p>	<p>①村上第一中学の平野愛夢君がソチ冬季五輪で銀メダルを獲得した。大変な荣誉であり、快挙である。隣接する本市としても、関係者がおられるとお聞きし、共に喜びたい。我々議会を含めた行政や教育関係者、あるいは子どもたちや家族も大きな刺激を受けたと思っている。本市においても子どもたちに大きな夢や目標を持たせ、それに向かって努力するサポート体制をさらに充実させては</p> <p>②子どもたちが夢を語り、将来の目標を持たせそれに向かって努力する環境づくりの醸成</p> <p>③胎内市のまちづくりの夢やアイデア、募集</p>	<p>教育長</p>

受付番号	平成26年 2月 26日 午前11時 50分受領

平成26年2月26日

胎内市議会議長 渡辺 宏行様

会派名 公明党

会派代表質問者氏名 新治 ひで子



会派代表質問通告書

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 子育て支援に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 共働きの子育て世代を支援するために、病児・病後児保育に取り組めないか。 ② 子どもを連れて里帰りした県外先でも、市の予防接種の助成制度が受けられるようにできないか。 ③ 真夏や冬期間、幼児が元気に走り回って遊べる広い遊び場の提供として体育館開放日を設けられないか。 ④ きすげ乳児園と黒川保育園を利用している保護者のために、2園を繋げる通用路を設置すべきでは。 	市長
2. 教育環境の向上に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① あいさつ運動は、学校と家庭で懸命に取り組んでいるが、地域へも広げるために、どのように地域と共同して取り組もうとしているのか。 ② 乙、黒川、築地地区の子どもたちは、保育園から中学校まで人間関係が固定化してしまいかねない。地域性を活かした取り組みや他校との交流は。 ③ 中高生で増加している深刻な「ネット依存」を防止するための取り組みは。 ④ 中条中学校の校舎内の環境整備をすぐに実施すべきでは。総務文教常任委員会で視察したが、いたるところでペンキが剥がれ、窓枠のゴムが伸び、踊り場の鏡が黒くくすんでいた。 ⑤ 黒川小学校のプールの改修計画は。6月から8月末まで、小学校、地域、保育園でと大変有効に利用されているが、近年、藻が発生するために、水を入れ替えたり薬剤を投入したりしている。 	教育長
3. 健康・福祉に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケアシステム構築のための今後の取り組みは。 ② 介護ボランティア事業に取り組む考えは。元気な高齢者が生活支援サービスの担い手となり、それが高齢者の生きがいや介護予防にも繋がる仕組みとして実施しては。高齢者の介護支援活動の実績に応じて交付されるポイントを介護保険料や介護サービス利用料に充てると保険料負担軽減になる。 ③ 「安心の高齢者住宅」を市営住宅解体後の敷地内に建設する考えは。まだまだ元気な一人暮らしの高齢者の方々が対象で、管理人あり。それぞれ個室に住むが、玄関、台所、風呂、居間などは共有して、共同で自立した生活ができる。 	市長

受付番号	平成26年2月26日
	午前11時50分受領



平成 26 年 2 月 26 日

胎内市議会議長 渡辺 宏行 様

会派名 日本共産党

会派代表質問者

氏名 丸山孝博

会派代表質問通告書

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市財政と負担増について(施政方針との関わりで)	<ol style="list-style-type: none"> 1 消費税増税による新たな負担増が市民の家計に与える影響についての認識と、消費の落ち込みによる手当をどう考えているのか。 2 地域の元気臨時交付金基金繰入金の8割近くを統合学校給食センター建設事業に充てるのはなぜか。地域からの切実な要望に沿った社会資本整備等に重点をおいた配分にすべきでないか。 3 地方交付税削減が繰り返されていることについての見解と、合併による交付税の特例措置額は、交付税総額の何割か。 	市長
産業振興について(施政方針との関わりで)	<ol style="list-style-type: none"> 1 TPP参加阻止なくして、地域農業をはじめ地域経済の展望は描けないことが市民に伝わるのが大事なのではないか。 2 砂丘地対策についての総合的な対策が示されないが、検討されているのか。 	市長
福祉施策について	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの医療費助成について、子どもの数で差別するのはなぜか。すべての子どもを高校卒業までにすべきではないか。 2 人工透析者数の推移と透析導入を抑止する慢性腎臓病対策、通院交通費助成の拡大について。 3 視覚障がい者に地デジ対応ラジオを支給することについて。 	市長

質問事項	質問の趣旨	質問の相手
教育問題について	<ol style="list-style-type: none">1 生活保護基準引き下げに対する就学援助費の対応について。2 安倍政権の教育委員会制度改革の見解について。	教育長